



眉 丈 の 丘 第 10 号

「笑顔にあふれ、みんなが輝く学校」

学校メールアドレス rokusei_es@school.town.nakanoto.ishikawa.jp

運動会・マラソン大会・学習発表会等、たくさんの“山登り”に挑んだ2学期が終わりました。子ども達は、それぞれの山の頂を目指して、仲間と声を掛け合いながら、一生懸命に登ってくれました。そして、どの子も大きく成長できたと感じています。これも、保護者の皆様、地域の皆様の温かなご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。2学期は今日で終わりますが、冬休みにしっかり充電をして、新たな気持ちで3学期を迎えてくれることを期待しています。



【12/23 校長室の窓から撮影】

2学期終業式

12月24日（火）、終業式がありました。大掃除を済ませて体育館に集まった子ども達。ピーンと張り詰めた空気の中で、校長講話や冬休みの生活に関する話を真剣に聞いていました。

（校長講話より）

今日で、2学期が終わります。みなさんにとってどんな2学期でしたか。

2学期の始業式で、「学ぶ力」・「関わる力」・「やり抜く力」を鍛えるために、たくさんの山登りに挑戦しようという話をしました。運動会・マラソン大会・学習発表会という行事の山、ロククタイムに挑んだ日々の学習の山、掃除や給食・係・委員会活動の奉仕の山、友だちや地域の方との関わりに関する山など。どの山もみなさんの力を鍛えるために大切な山でした。

それぞれの山登りをした時のことを振り返ってみると、時には一人で、時には仲間と協力し合って、粘り強く登ることができていたなあと思います。一生懸命に山登りをするみなさんの輝いた姿がいっぱい浮かんできます。

みなさんの中には、力がついたことに気付かない人もいるかもしれませんが、この2学期の学校生活の中で、一人一人の「学ぶ力」・「関わる力」・「やり抜く力」は確実に高まりました。でも、みんなの力はこんなもんじゃない、まだまだ大きくなると思っています。

そこで、学年を締めくくる3学期には、一人一人が自分の目標を掲げて、その目標を達成するための山登りに挑戦してみてください。そうすればきっと、一人一人の力がパワーアップできると思います。是非、挑戦してみてください。

さて、明日から14日間の冬休みが始まります。2週間の間に、クリスマス、年越し、お正月など、ワクワクする日が続きますね。でも、1月の地震のことを思い出して不安な気持ちになったり、落ち着かなくなったりすることがあるかもしれません。そんな時は、家族に不安な気持ちを話したり、担任の先生から教わった体操をしたりしてみてくださいね。そして、家族のみなさんと一緒に楽しい時間を過ごしてください。

安全や健康に十分気を付けながら、楽しい冬休みを過ごしてください。そして、1月8日の3学期の始業式の日、みんなが元気いっぱいに登校してくるのを待っています。

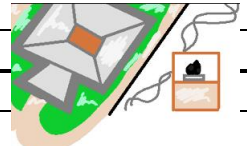
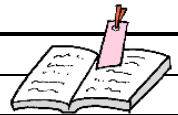
では、良い年を迎えてください。

【年末・年始の休業期間中の緊急連絡について】

12月28日（土）から1月5日（日）までの期間、年末・年始の休業（学校閉庁）となります。期間中、緊急を要する連絡がございましたら、コドモンにてお知らせください。よろしくお願いいたします。

応募作品・コンクールの入賞者

① 鹿島郡読書感想画コンクール										
優秀賞	1年 大島 かほ *郡代表として県審査会へ出品									
優良賞	2年 中村 美心		3年 花澤陽夏里		4年 河内穂乃佳		5年 澤田 蘭		6年 高木 那名	
② 千代女少年少女全国俳句大会										
入 選	1年 前田 凱翔		1年 佐々木香歩		1年川島 絆瑞		5年 川島 絆愛		5年 脇田 陽彩	
③ 火災予防運動防火ポスター審査会										
金 賞	3年 山森 花音									
銀 賞	3年 中谷 廉佑									
④ 中能登町子ども会連絡協議会絵画コンクール										
審査員特別賞	5年 高木 美穹		6年 大門 舞斗							
優 秀 賞	1年 長谷川仁奈		2年 堀内 權							



6年生対象の「人権教室」

人権週間中の12月5日(木)、中能登町の人権擁護委員のみなさんをご講師としてお招きして、6年生を対象とした「人権教室」を開きました。いじめをテーマとしたDVDを視聴した後、グループに分かれて「いじめをなくすためにできることは何か？」について話し合いました。



【授業後のふり取り】

- DVDを見て、いじめは絶対にだめだということをあらためて感じた。いじめをなくすには、信頼できる人に相談するのが一番いいと思う。
- 僕は止める人になりたいと思いました。いじめをなくす為には、見ている人が止める人になればいいと思います。
- 改めて、命の大切さを学んだ。いじめを無くすには、命の大切さを学ぶといいと思う。
- いじめはよくないと思った。見て見ぬふりをしない人間でありたい。

☆「生徒指導だより」(12月18日コドモンにて配信)でお伝えしましたが、「相手を思いやる言動」について、全校でも考える機会を作りました。「相手のことを大切に思う鹿西っ子」に育つよう、引き続き指導していきます。

12月の授業サポート事業

12月11日(水)に、2学期最後のクラブがありました。クリスマスが近いということで、地域サポーターの先生がサンタの帽子をかぶって登場。子ども達は思わぬサプライズに大喜びでした。工作クラブでは松ぼっくりをデコレーションした飾り作り、手芸クラブではリース作り、そしてイラストクラブではクリスマスにちなんだイラストに挑戦。出来上がった飾りや作品を手にとって、どの子も満足そうでした。



2025年は巳年。巳年は、脱皮をする蛇のイメージから「復活と再生」を意味し、植物に種子ができれば始める時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になると言われているそうです。**2025年**は、能登半島地震の復興がさらに進むことを期待しています。また、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年とも言われるようです。子ども達の頑張りがしっかりと成果につながるように、引き続き全職員で子ども達をサポートしていきます。保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援をお願いします。

どうぞ、ご家族皆様で、良い年をお迎えください。

